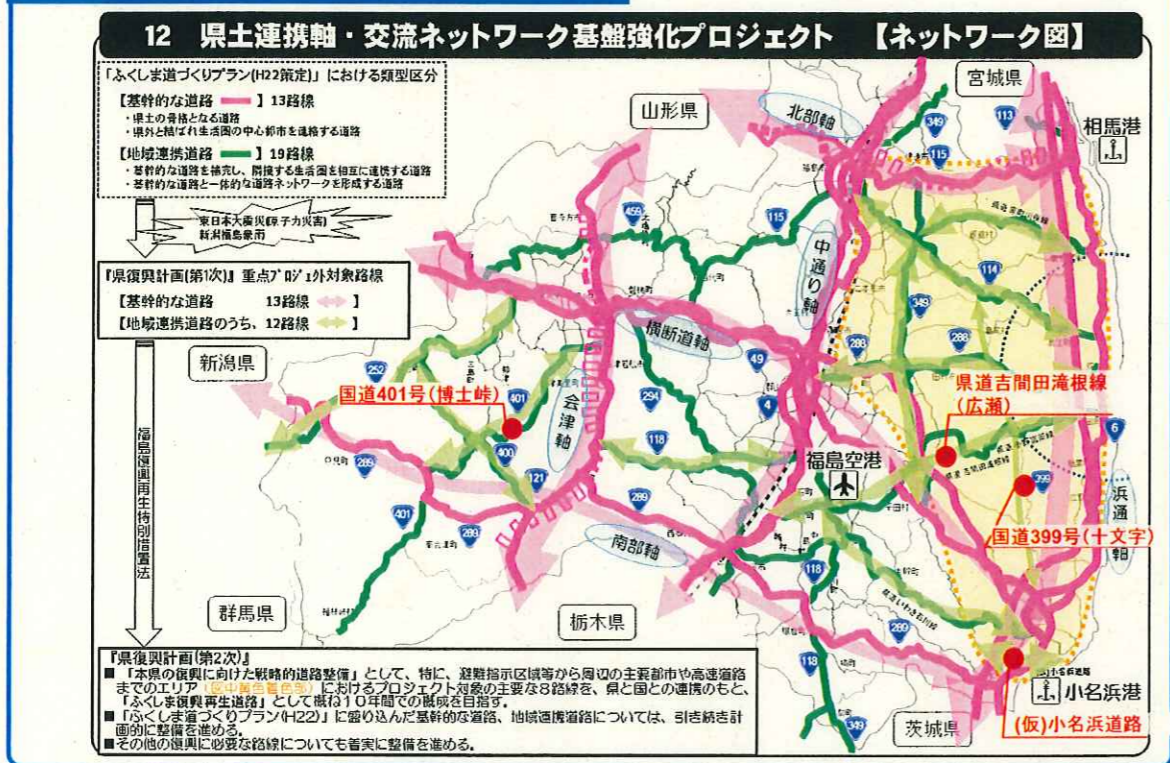


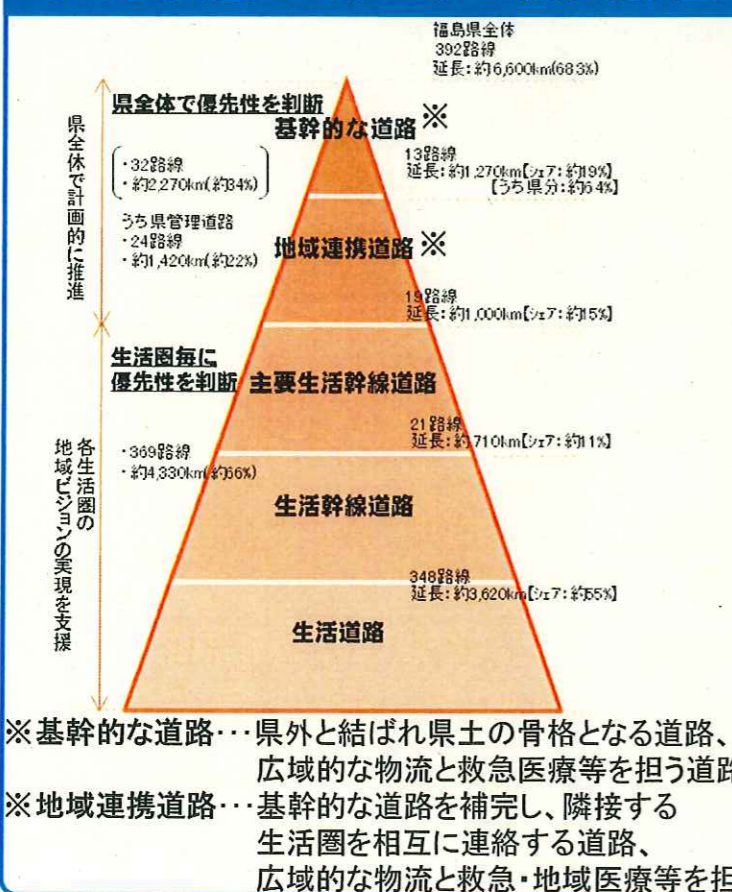
震災を踏まえた道路整備の方針

福島県復興計画(第2次)



具現化

ふくしま道づくりプラン復興計画対応版



<県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト対象路線>

No.	区分	路線名	福島県復興計画 対象路線 (県土連携軸・交流 ネットワーク基盤強化 プロジェクト)	ふくしま 復興再生道路 対象路線	
1	基幹的な道路	東北自動車道	○		
2		常磐自動車道	○		
3		東北中央自動車道	○		
4		東北横断自動車道	○		
5		会津縦貫道 (会津縦貫北道路、 会津縦貫南道路)	○		
6		国道4号	○		
7		国道6号	○		
8		国道13号	○		
9		国道49号	○		
10		国道115号(R6~R4)	○		
11		国道118号(R121~R49)	○		
12		国道121号	○		
13		国道289号	○		
14	地域連携道路	あぶくま高原道路	○		
15		国道113号	○		
16		国道114号	○	○	
17		国道115号(R4~R49)	○		
18		幹線道路	国道118号 (茨城県境~R121)	○	
19			国道252号	○	
20			国道288号	○	○
21			国道294号	○	○
22			国道349号	○	○
23			国道352号	○	
24			国道399号 (R349~R4)	○	
25			国道400号	○	
26	国道401号		○		
27	国道459号		○		
28	県道 白河石川線		○		
29	県道 原町川俣線		○	○	
30	県道 いわき石川線		○		
31	県道 喜多方西会津線		○		
32	県道 小野富岡線		○	○	
33	県道 いわき上三坂小野線 (飯塚)小名浜道路		○	○	
34	国道399号 (R6~R114)		○	○	
35	県道 吉間田滝根線		○	○	

道路整備の方針

災害に強い県土づくり

- ・東日本大震災
- ・新潟福島豪雨

災害時の避難、救急・救援活動等を支える路線確保

必要最低限の幹線道路ネットワークの整備

基幹的な道路+地域連携道路+ふくしま復興再生道路

事業の実施の考え方

	評価の視点
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・福島復興再生 ・安全安心の確保 ・活力(地域振興、産業振興)
緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・早期復興 ・早期帰還支援
有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・B/C 3便益 <ul style="list-style-type: none"> 走行時間短縮便益 走行経費減少便益 交通事故減少便益 ・地域、路線の特性を踏まえた拡張便益の検討 ex)冬期速度低下解消便益、救急救命率向上便益、防災便益、孤立解消便益等

道路事業 大規模事業箇所 選定の考え方

福島県全体 [384路線] (県管理道路)

「福島県復興計画(第1次)」

【県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト】 [25路線]

「福島県復興計画(第2次)」

【ふくしま復興再生道路】 [8路線]

「避難解除等区域復興再生計画」

【公共インフラの復旧と機能強化】

うち

【地域の実情等を勘案して『国直轄代行事業』を要請する箇所】
[3箇所]

復興の加速化

(仮称)小名浜道路

国道399号(十文字)

県道 吉間田滝根線(広瀬工区)

走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

◆3便益B/Cでは
十分に評価できない箇所

◆交通量にかかわらず
機能が求められる箇所

「ふくしま道づくりプラン(復興計画対応版)」

【着手時期を前倒しする箇所】 [8箇所]

うち

【5年以内に着手する箇所】 [7箇所]

「冬期通行止め区間」[40路線 54区間]

【主要都市と役場間の最短経路が寸断される
県内唯一の箇所】 [1箇所] (昭和村)

国道401号(博士峠)

命の道の確保